

Parala

図書館と利用者をつなぐ虹の架け橋

～図書館情報誌パララ～

P(People)a(and)r(rainbow)a(and)l(library)a(and)

冬号 2022.12-2023.1 VOL.139

大野城まどかぴあ図書館

素敵な歳の重ね方

年々、1年があっという間に過ぎていくように感じます。1年を振り返ることも多いこの時期、歳を重ねることの喜び・楽しみや尊さを感じられる本をご紹介します。

『生き方上手はよく笑う』

斎藤 茂太／著

新講社【HS 159.7 サ】

最近、どんなことで笑いましたか？笑いはストレス解消になり、健康に生きるために重要なことだそうです。この本は“モタさん”の愛称で知られる精神科医の著者が、笑うことの大切さを教えてくれます。

「泣いて暮らすも一生、笑って暮らすも一生」という言葉がありますが、ストレス社会の中で、笑顔で楽しく過ごすことを自ら心がけることが大切なのだと感じます。

『ちょっと早めの老い支度』

岸本 葉子／著

オレンジページ【HS 367.7 キ】

身の回りのモノの整理、住まいや健康、人間関係、お金のこと…老い支度には考えることがたくさんあります。著者が50代の頃に自身の「老い」を意識するようになり、食生活や家電との付き合い方を見直し、身近にできることから老い支度を始めた経験を綴っていて、「今は今としてせいっぱい享受する」という締め言葉が響きます。続編も2冊出ていますので、あわせてぜひご利用ください。

『いのちの使いかた』

日野原 重明／著

小学館【490.4 ヒ】

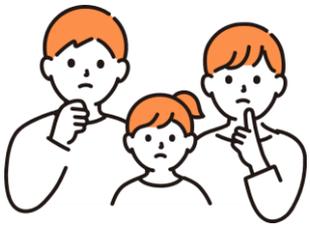
100歳を超えてもなお、好奇心にあふれ、向上心と目標をしっかりと持って生き、105歳まで現役医師として活躍した著者。ハイジャック事件に巻き込まれたことで、与えられた命を誰かのために使いたいと思うようになったエピソードから、いのちとの向き合い方や生きる時間をどう大切にしていこうかを考えさせられます。人生100年時代、どの世代にもおすすめの1冊です。

『幸田文 生きかた指南』

幸田 文／著 青木 奈緒／編

平凡社【914.6 コ】

さまざまな苦勞を乗り越えてきた幸田文さんのエッセイを、孫であり作家の青木奈緒さんがまとめています。新潟の新聞に寄せられた多くの人生相談の回答も収録されていて、芯のある数々の言葉に励まされるような気持ちになります。人生の中で誰しもが悩み考えることに寄り添って、本の中から生き生きと語りかけてくるような、タイトル通り生き方指南といえる悩んだ時に読みたいアンソロジーです。



おうちで読書、できていますか？

大野城市では子どもたちが読書に親しみ、豊かな心が育めるよう、読書活動を推進しています。しかし、ご家庭によってはお悩みがあるところも…。そんな時はぜひ図書館を頼ってみてください。

子どもが本に興味をもってくれない



おはなし会に参加してみよう！

図書館では小学生まで参加できるおはなし会やイベントを定期的におこなっています。読書をむずかしく考えず、読み聞かせや楽しいイベントから本とふれあってみませんか？

※くわしい日程は図書館 HP をご確認ください



どんな本を読ませたらいいのかわからない



子ども向け「ぱらら」があります！

この図書館情報誌「パララ」をはじめ、中学生向け「わいわいぱらら」、子ども向け「こぱらら」、赤ちゃん向け「Babyぱらら」を発行しています。年齢に合わせたオススメ本を紹介しているので、困った時はまず「ぱらら」で！



図書館が遠い・・・



移動図書館わくわく号運行中！

わくわく号は大野城市内 27 カ所を巡回しています。本の貸出・返却はもちろん、予約のリクエストも受け付けています。隔週日曜日は南コミュニティセンターに運行していますのでぜひご利用ください。

※巡回場所や日程は図書館 HP をご確認ください



職員
の
つみやき



小学生の頃、図書館が身近になかった私にとって移動図書館車がはじめての図書館でした。公園だったか、小学校だったか、偶然やってきた図書館車で利用カードを作ってもらった記憶…。自分の名前が書かれたカードを受け取ったときの嬉しさは今でも覚えています。おぼろげではありますが、楽しかった思い出は大人になっても心に残っているものですね。今度は司書となった私が、子どもたちに図書館で良い思い出を作ってもらえるよう、この思いを繋げていけたらいいなと思います。(S)

コーナー移動
の
お知らせ

児童コーナーの資料を 移動しました！

おりがみの本など、5種類の資料を移動しています。分からないことがあれば職員までお尋ねください！

**児童コーナー
案内図**

K10

電気、鉄道などの児童書
◎請求記号:530～589

K11

音楽、スポーツなどの児童書
◎請求記号:760～789

K11

大型の児童書
◎請求記号:0

K18

「のりもの」、「めいろ」「さがしえ」
などの絵本・児童書
◎請求記号:N

K18 番の棚には、「しずくちゃん」
シリーズや「徳間アニメ絵本」シ
リーズもまとめて置いています。

K16

おりがみの本
◎請求記号:SE

K16 番の棚に大人向け、子ども向け
のおりがみの本をまとめて置いてい
ます。

図書館カレンダー

■ 休館日

12月 December

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月 January

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

12月28日(水)～1月4日(水)は年末年始のため休館します。

としょかんのおはなし会*りとる*

・赤ちゃん向け

- ◇ 12月20日(火)、1月17日(火)
- 1月31日(火)
- ①10:30～10:45
- ②11:30～11:45

・幼児～小学生向け

- 12月10日(土)、1月7日(土)
- 1月21日(土)
- ①10:30～10:50
- ②11:30～11:50

★ **クリスマス スペシャル**
12/24(土) ※要申込
※詳しくは図書館HPを
ご確認ください



お す す め の 本



『366 日風景画をめぐる旅』

海野 弘／解説・監修

パイインターナショナル

【 V 723.3 サ 】

西洋美術の『風景画』が本格的に描かれるようになったのは19世紀に入ってから。それまでは、人物画の背景として描かれてきました。

この本では、暦(時間)と旅(空間)という2つのキーワードで、366日を巡る内容になっています。例えば、1月29日は美術史学者でもあったグラーバリが描いた「冬の朝」。青白い木々のすき間から朝日が差し込むさまは、冬の張り詰めた空気がやわらいでいくようで、色彩が美しい作品です。また、作家解説もあるため、気になる作品や知らなかった作家をより知ることができる一冊です。

どこか心を惹かれ、時をも感じさせる風景画。さて、あなたのお気に入りの絵画は何月何日でしょう？(N)

『プラスチックの現実と未来へのアイデア』

高田 秀重／監修

東京書籍

【 519 プ 】

レジ袋の有料義務化が始まって私たちの生活に環境問題という意識も広がりました。しかし、2050年には海洋中のプラスチックの量が魚の量以上に増加すると知り驚く人は多いと思います。

プラスチックは暮らしを支える必需品ですが、世界中の海を漂流しているプラスチックごみは2万トン、数にして50兆個と海洋汚染は深刻な現状に加え、日本は使い捨てプラスチック使用量が世界第2位となっています。

今日からできるアクションリストを参考に、家庭・職場・地域でどうプラスチックを減らしていくのかを考え、行動することが大切だと思います。ライフスタイルを変えることから始めてみてはいかがでしょうか。(I)

『さとりをひらいた犬

ほんとうの自分に出会う物語』

刀根 健／著

SBクリエイティブ

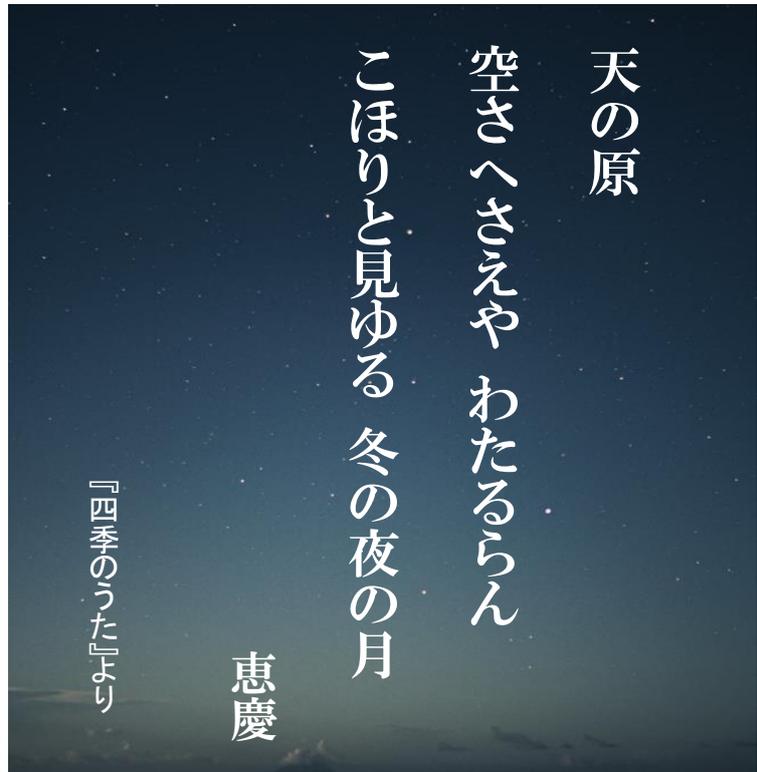
【 F トネ 】

「ほんとうの自分とはなんなのか？ほんとうの自由とはなんなのか？それを知りたいはないか？」

獲物である狼が残した言葉をきっかけに、主人や仲間と離れ、旅に出た猟犬ジョン。ほんとうの自分や自由に目覚めた者のみがたどり着ける場所『ハイランド』を目指し、旅に出ます。波乱の道中で多くの師や仲間と出会い、その言葉によって成長していくジョンは、たどり着いた先で一体何を見るのか―。「生き方」の真価を問われる衝撃の人生寓話。本の中でジョンと一緒に旅をすることで、自分自身の人生と向き合うことができます。個性あふれる動物たちも印象的なお話です。(H)

 ご来館の際は図書を入れるための袋(エコバッグなど)をご持参いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

みなさまの作品(イラスト、エッセイ、詩)、書評やパララへの要望など、お寄せください。郵送または館内のご意見箱へどうぞ。
(作品返却、掲載予定のお返事はできません)



つどい・ふれあい・はばたく
大野城まどかぴあ図書館

公益財団法人大野城まどかぴあ
816-0934 福岡県大野城市曙町2丁目3番1号
TEL 092-586-4010
<http://www.madokapialibrary.jp/>

モバイルサイトはこちら→

